

# 2009年3月期 決算説明会

2009年6月9日



(証券コード:9888)

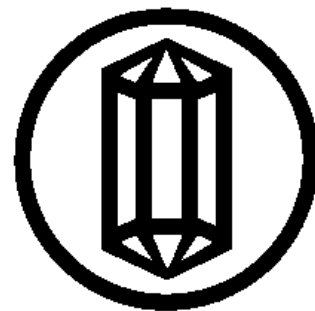


# CONTENTS

1. 2009年3月期決算(連結)の解説 . . . . . P3
2. 今後の業績見通し . . . . . P16
3. 補足資料 . . . . . P24

本資料は、2009年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また本資料は2009年6月9日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

# 2009年3月期 決算の解説



株式会社 **UEX**

# 2009年3月期決算（連結）の概要

単位：百万円

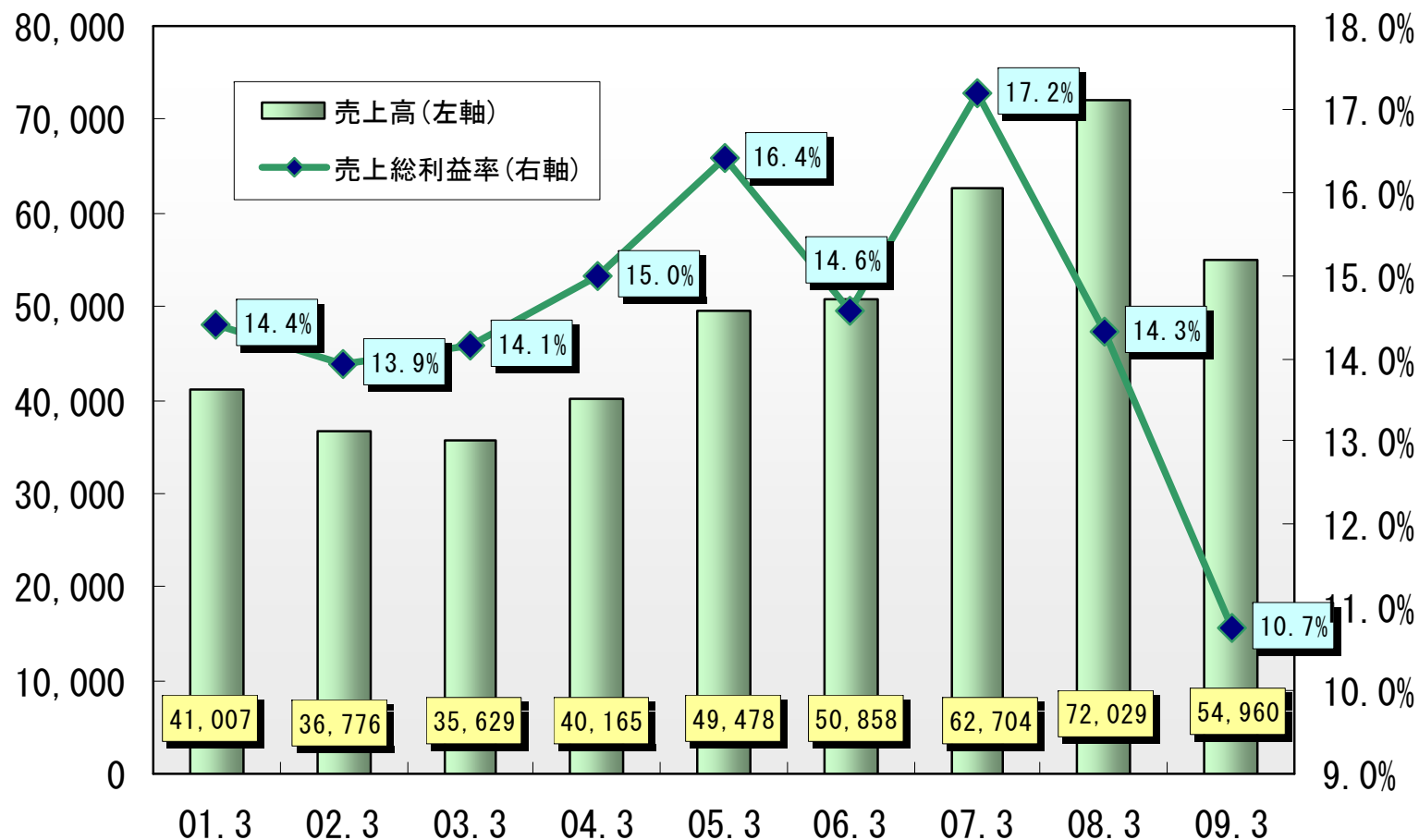
	08/3 実績	当初計画 (08/5/20)※	09/3 実績	前期比	計画比
売上高	72,029	66,000	54,960	-23.7%	-16.7%
売上総利益	10,322	7,500	5,904	-42.8%	-21.3%
(率)	(14.3%)	(11.4%)	(10.7%)	(-3.6%pt)	(-0.6%pt)
営業利益	4,419	1,410	235	-94.7%	-83.3%
経常利益	4,192	1,180	26	-99.4%	-97.8%
当期純利益	2,463	670	-276	—	—

※ その後、08/9/30、09/2/6、09/4/30に合計3回修正しております。

■ 売上高および各利益は、前期比・計画比ともに大幅減少。

# 売上高・売上総利益率推移(連結)

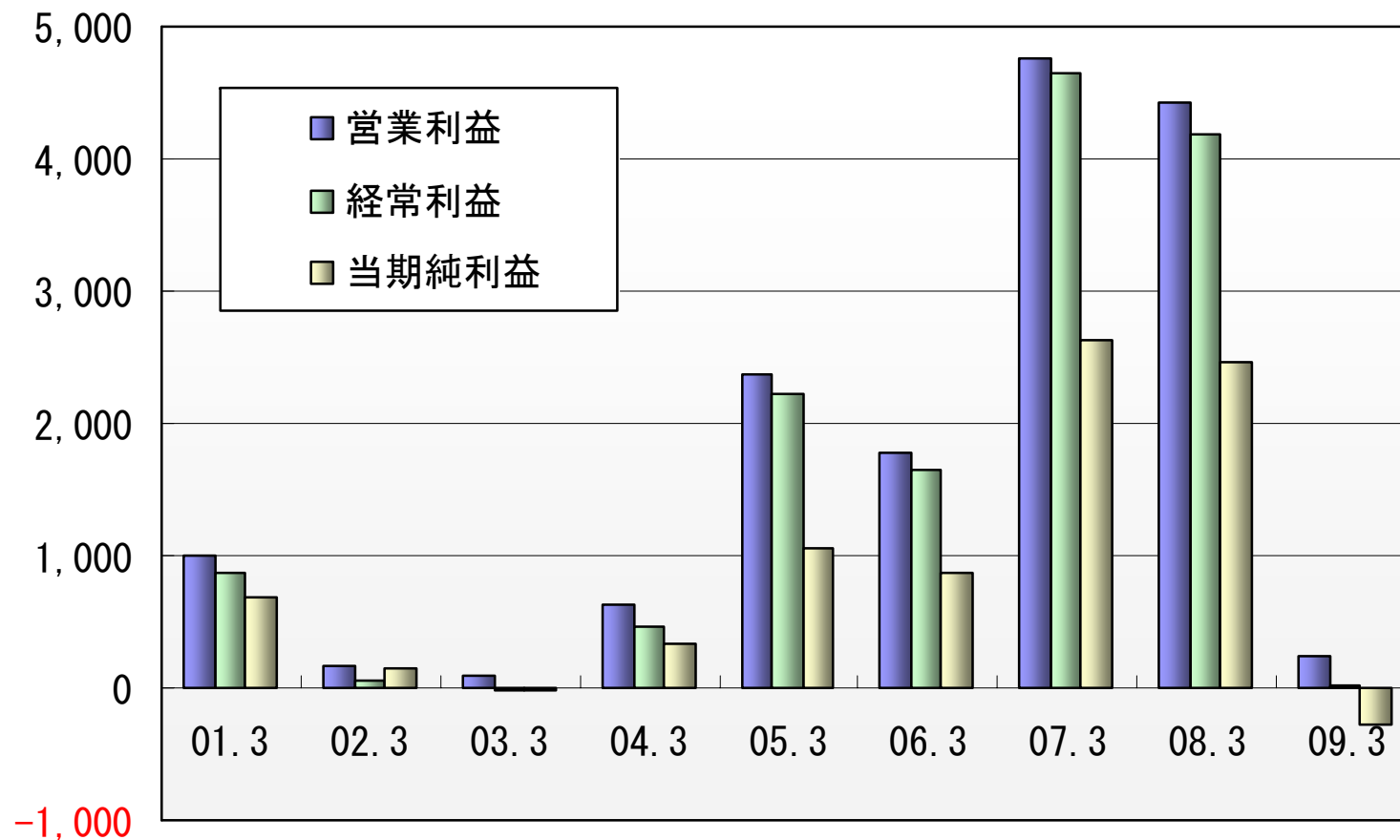
単位：百万円



■ 売上高は前期をピークに急落。売上総利益率は前々期から急降下。

# 利益推移(連結)

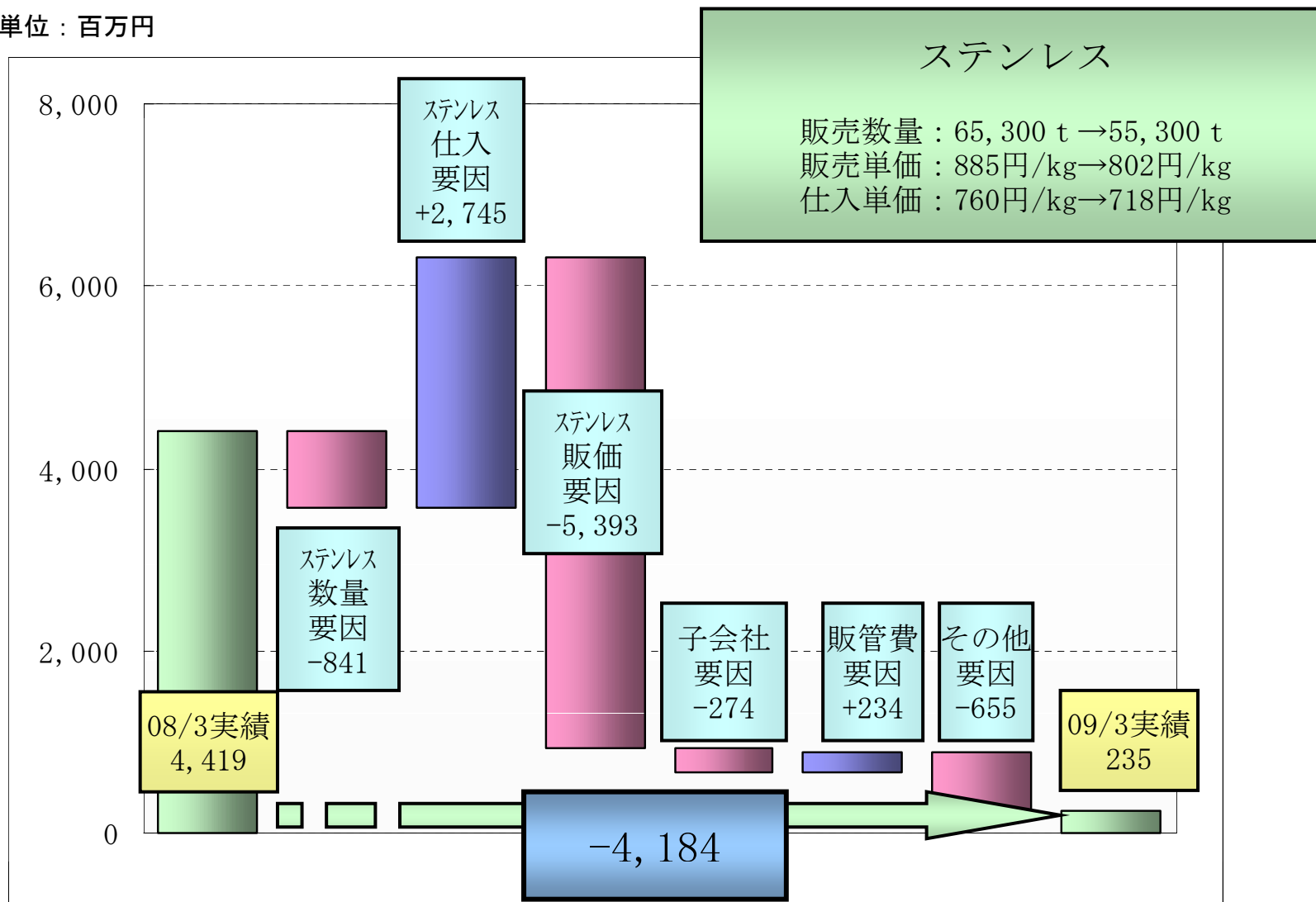
単位：百万円



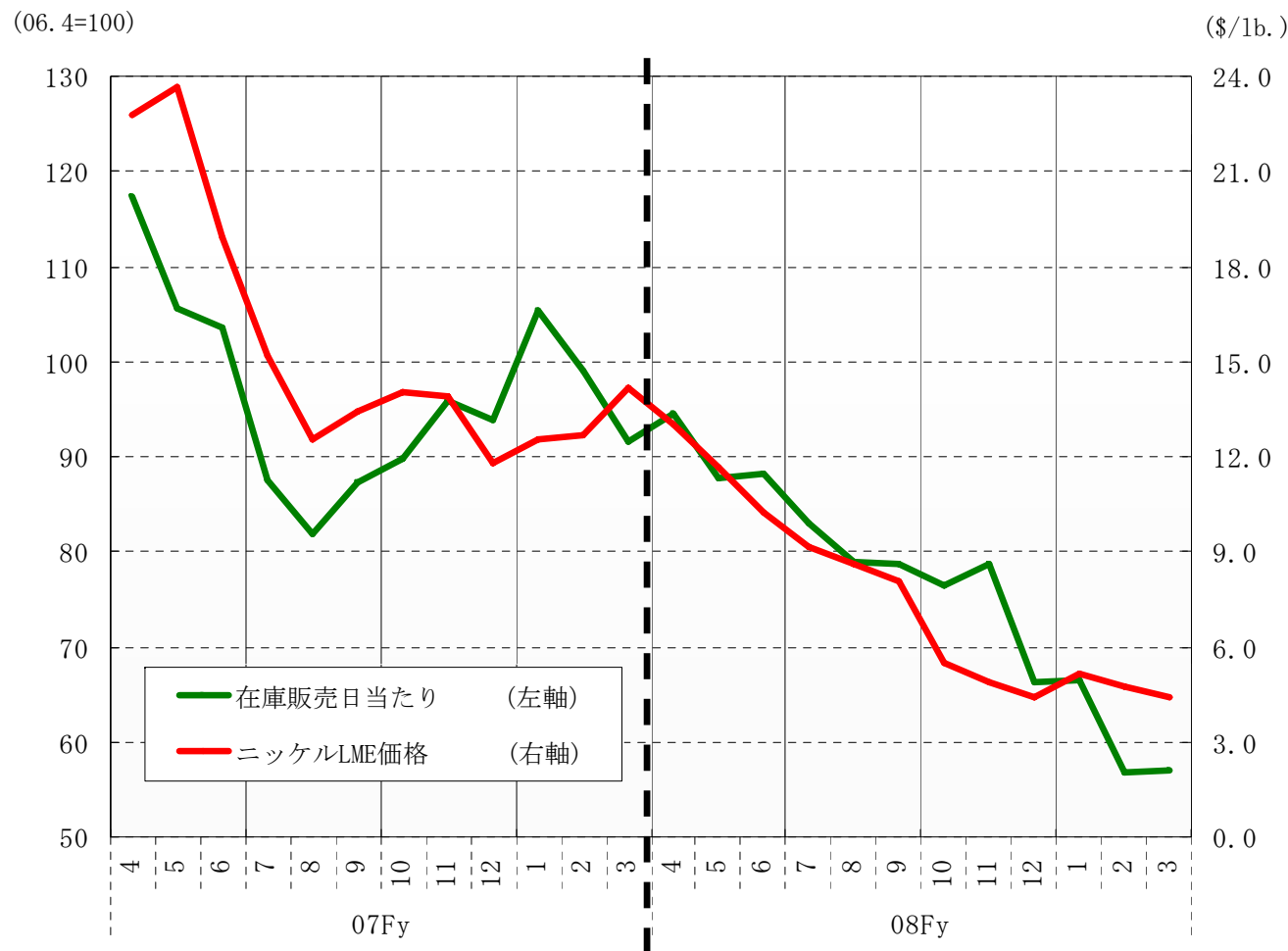
■ 当期純利益が、03.3期以来6期ぶりに赤字。

# 連結営業利益変動要因分析(前期比)

単位：百万円



# ステンレス在庫販売数量推移

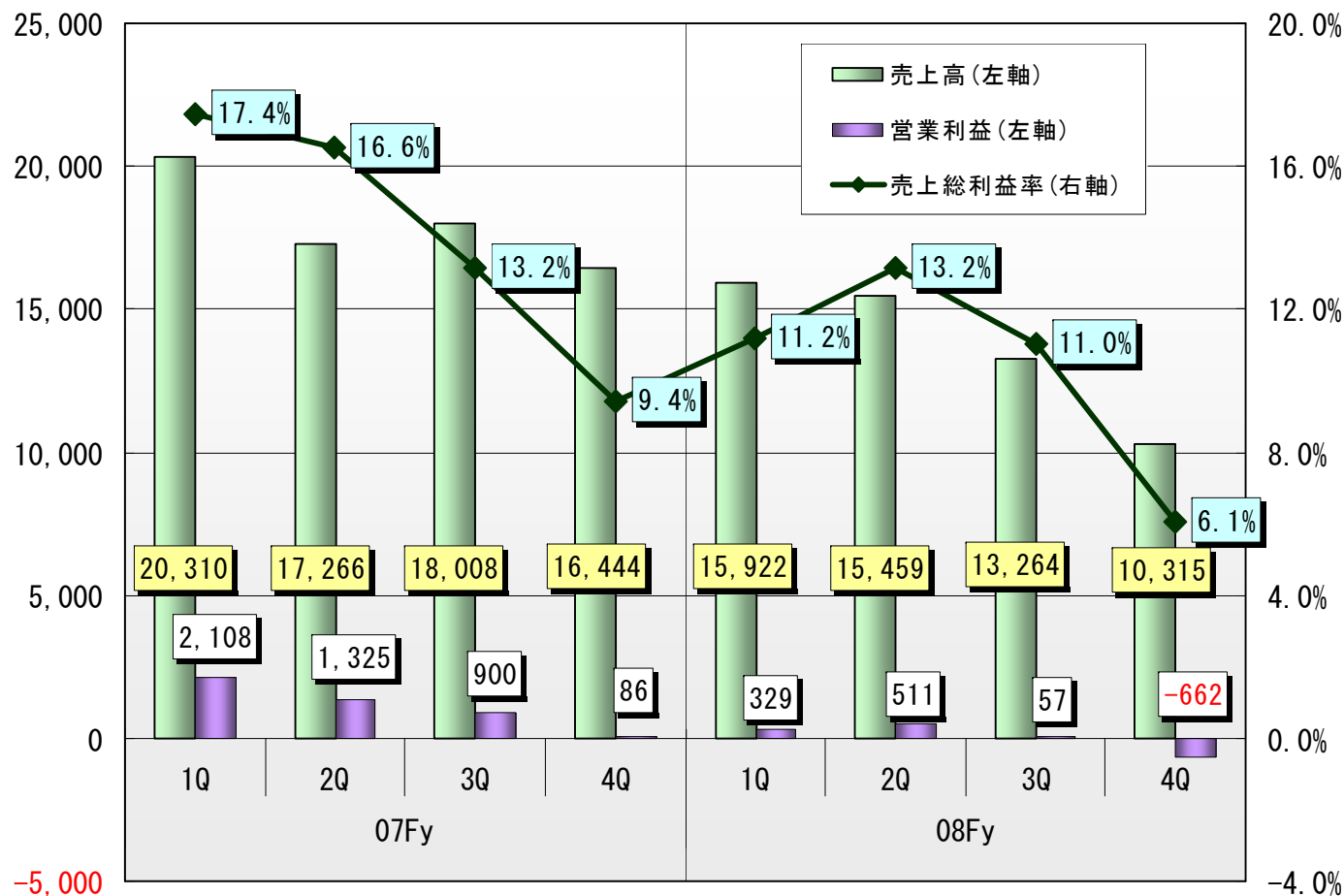


■ ニッケル価格の下落によるステンレス価格の先安感と下期以降の需要激減により販売数量は減少。



# 売上高・売上総利益率・営業利益四半期別推移（連結）

単位：百万円



- 売上高、売上総利益率は3Q以降に急落。
- 営業利益は3Qに収支トントン、4Qには赤字転落。

# 販売費及び一般管理費(連結)

単位：百万円

	09/3実績	前期比	08/3実績
売上高	54,960	-23.7%	72,029
販売費及び一般管理費	5,669	-4.0%	5,903
(売上高に占める割合)	(10.3%)		(8.2%)
(うち 人件費)	3,076	-2.7%	3,161
(うち 荷造運搬費)	846	-5.7%	898
(うち 家賃地代・賃借料)	294	-7.5%	318
(うち 減価償却費)	334	+79.8%	186

- 人件費などの抑制により販管費を4.0%圧縮するものの、売上高比率は上昇。
- 設備投資により減価償却費は増加。

# 連結貸借対照表

単位：百万円

	09/3/31 現在	08/3/31比	08/3/31 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	25,386	-25.8%	34,227
（うち 受取手形及び売掛金）	11,800	-31.0%	17,104
（うち 商品など）	10,657	-21.8%	13,637
固定資産	9,466	+0.3%	9,438
<b>資産合計</b>	<b>34,852</b>	<b>-20.2%</b>	<b>43,664</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	21,446	-27.1%	29,405
（うち 支払手形及び買掛金）	13,971	-34.5%	21,333
固定負債	3,051	+1.4%	3,009
<b>負債合計</b>	<b>24,497</b>	<b>-24.4%</b>	<b>32,414</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>純資産合計</b>	<b>10,355</b>	<b>-8.0%</b>	<b>11,250</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>34,852</b>	<b>-20.2%</b>	<b>43,664</b>

- 販売・仕入の減少により受取手形及び売掛金、支払手形及び買掛金が減少。
- 販売数量減少に対応すべく在庫を圧縮したことにより棚卸資産減少。

# 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	09/3実績	08/3実績
営業活動によるキャッシュフロー	271	211
投資活動によるキャッシュフロー	-721	-211
財務活動によるキャッシュフロー	-18	537
現金及び現金同等物に係わる換算差額	-15	1
現金及び現金同等物の増減額	-482	538

# セグメント別会社一覧

単位：百万円

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				09/3実績	08/3実績	
【第1セグメント】 ステンレス鋼などの販売	UEX（当社）	1,512	—	52,887	69,697	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	UEX管材	12.8	79.4	1,305	1,622	鋼管、鋼材、継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	1,142	1,639	半導体装置用ステンレス鋼管の販売事業
	ナカタニ(※1)	10	33.6	4,428	4,009	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工
	SPEX(※2)	千NT\$ 10,000	40	0.8百万NT\$	—	チタン展伸材などの輸入販売
	ステンレス急送	10	100	394	403	貨物自動車運送業
【第2セグメント】 加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	750	757	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海UEX	千US\$ 910	100	9.6百万元	12.2百万元	鋼管加工製品の製造・販売
【第3セグメント】 機械装置 エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	1,250	1,578	一般産業用機械装置の設計・製作
	三益UEX	10	100	430	587	鋼管製造用機械の製造・販売

(※1) ナカタニ：08.10.3付で同社株式を取得し持分法適用会社とした。

(※2) SPEX：08.5.20付で台湾現地法人との合併で設立し持分法適用会社とした。

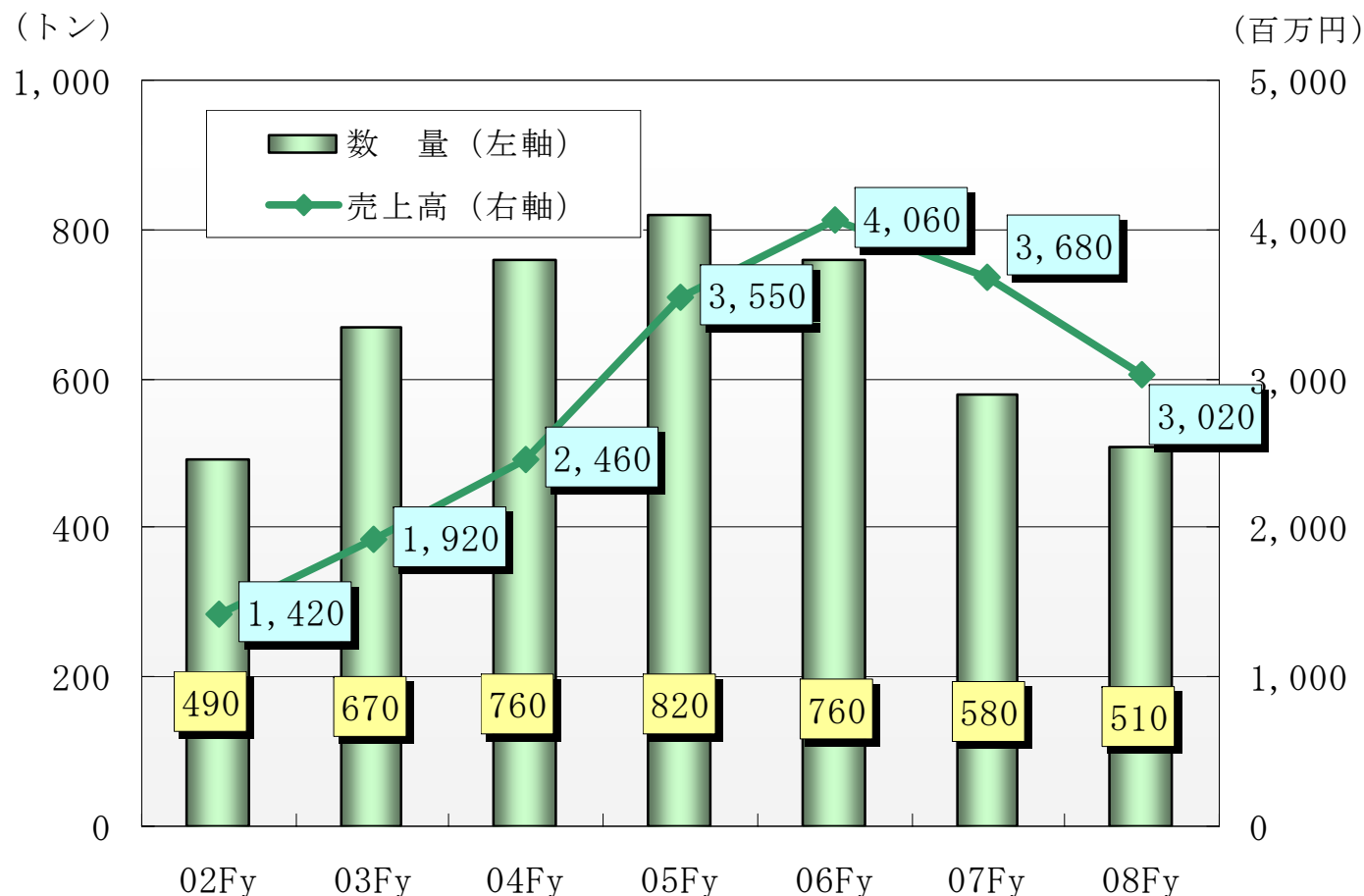
# セグメント別の状況

単位：百万円

		【第1】 ステンレス鋼 などの販売	【第2】 加工製品の 製造・販売	【第3】 機械装置 エンジニアリング	消去又は全社	連結
09/3期	売上高	52,606	872	1,482	—	54,960
	前期比	(-23.5%)	(-26.8%)	(-28.5%)	—	(-23.7%)
	営業利益	110	-1	72	54	235
	前期比	(-97.4%)	(—)	(-60.0%)	(+11.1%)	(-94.7%)
08/3期	売上高	68,766	1,190	2,073	—	72,029
	営業利益	4,203	-13	181	49	4,419

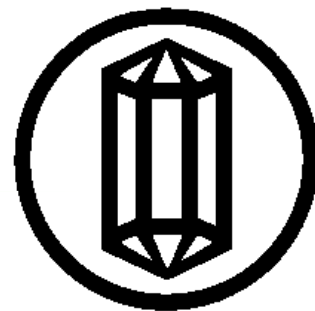
- ステンレス販売事業は後半に数量激減、販価急落し売上高・営業利益とも大幅減少。
- 加工製品事業はステイド社が連結対象から外れたことにより売上高は減少、中国における造管事業で事業スキームの変更に伴い経費が大幅に増加したことにより営業赤字。
- 機械・エンジ事業はエンジ事業において前半好調に推移するものの、後半は収支トントン。

# チタンの販売概況



- チタン展伸材メーカーの出荷は輸出が好調に推移するものの内需向けが前年同期比14%減少したためトータルで19,100トンと同2%減少。当社においては国内化学工業向け中小型設備需要の落ち込みと、価格の下落により、売上高・数量ともに減少。

# 今後の業績見通し



株式会社 **UEX**



## 2010年3月期連結業績見通し

単位：百万円

					09/3 (実績)	《参考》 10/3計画 【単体】
	上期	下期	10/3 (計画)	前期比		
売上高	19,600	25,000	44,600	-18.8%	54,960	42,700
売上総利益	1,440	2,680	4,120	-30.2%	5,904	3,640
(率)	(7.3%)	(10.7%)	(9.2%)	—	(10.7%)	(8.5%)
営業利益	-1,070	260	-810	—	235	-910
経常利益	-1,180	160	-1,020	—	26	-1,020
当期純利益	-990	110	-880	—	-276	-840

- 上期を底に最悪期を脱し、下期は黒字を見込むものの、通期では赤字予想。
- 「UEXの志」をBaseに2010年4月を起点とした中期経営計画を策定予定。

# セグメント別の計画

単位：百万円

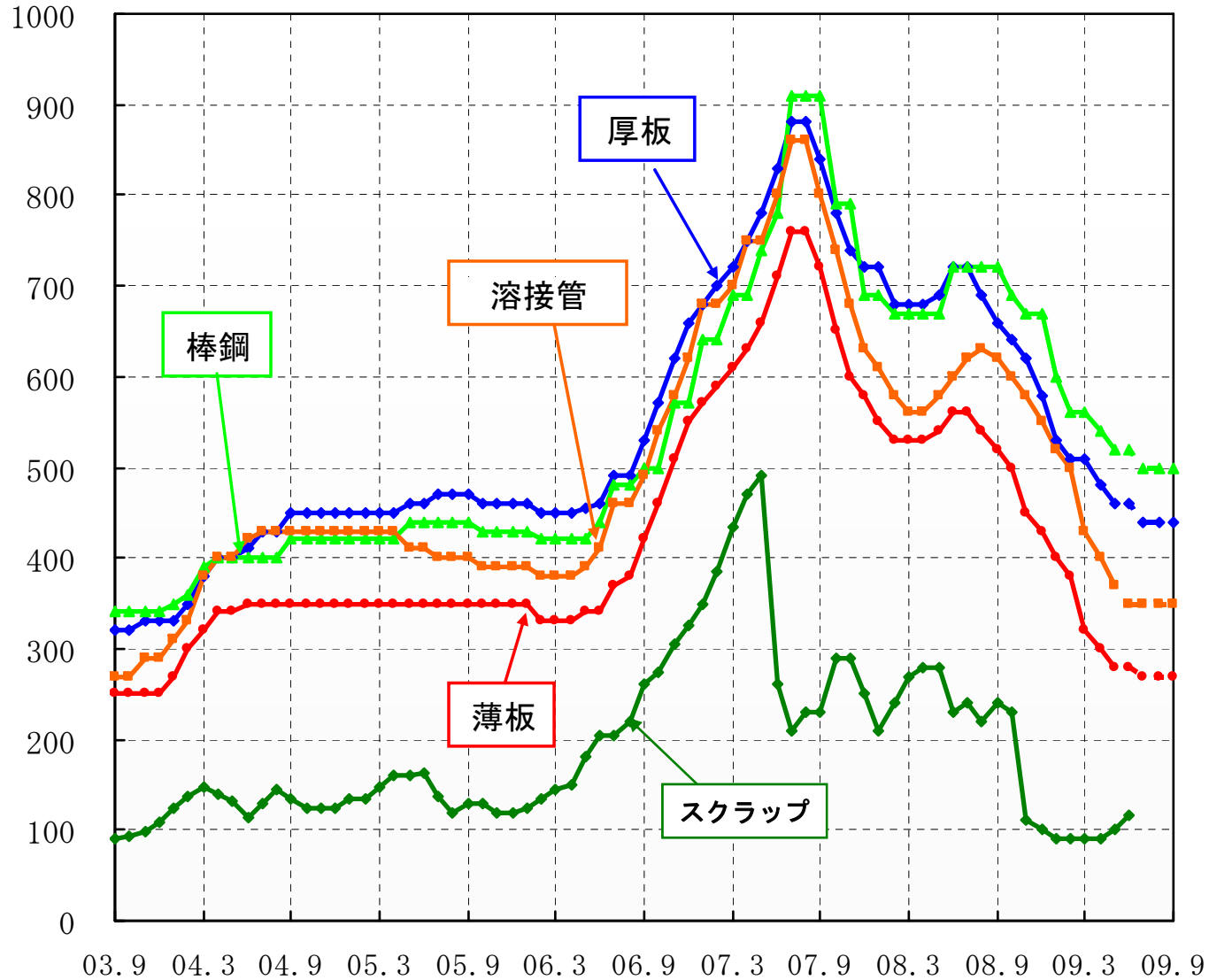
		【第1】 ステンレス鋼 などの販売	【第2】 加工製品の 製造・販売	【第3】 機械装置 エンジニアリング	消去又は全社	連結
上期	売上高	18,720	350	530	—	19,600
	営業利益	-1,030	-13	-50	23	-1,070
下期	売上高	23,580	400	1,020	—	25,000
	営業利益	130	15	90	25	260
10/3期計画	売上高 (前期比)	42,300 (-19.6%)	750 (-14.0%)	1,550 (+4.6%)	— —	44,600 (-18.9%)
	営業利益 (前期比)	-900 (—)	2 (—)	40 (-44.7%)	48 (-11.0%)	-810 (—)
09/3期実績	売上高	52,606	872	1,482	—	54,960
	営業利益	110	-1	72	54	235

# セグメント別の見通し

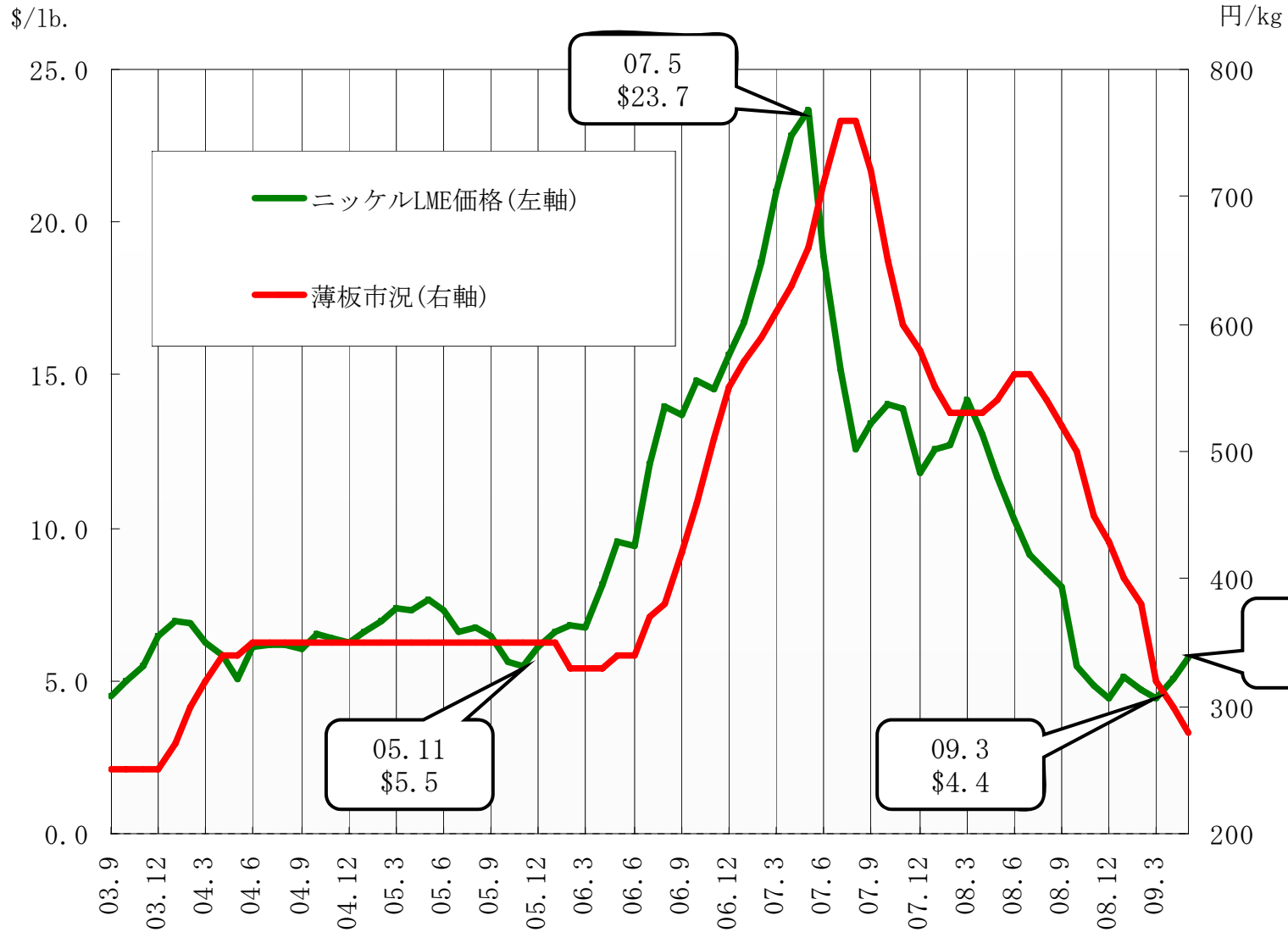
事業区分	セグメント別の見通し
<b>【第1セグメント】</b> ステンレス鋼 などの販売	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【計画】売上高：42,300百万円，営業利益：-900百万円</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間設備投資の低迷により生産財向けステンレスの需要は低水準で推移することを覚悟。</li> <li>・ リーマンブラザーズ破綻以降の急激な需要の落ち込みは、第1四半期を底として徐々に改善。販売数量は緩やかに増加し、採算を度外視した安値による受注競争も緩和していくことを想定。</li> </ul>
<b>【第2セグメント】</b> 加工製品の 製造・販売	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【計画】売上高：750百万円，営業利益：2百万円</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国の造管事業において、新規顧客の開拓と顧客ニーズに適合する生産・品質管理体制の整備を図ることが課題。</li> </ul>
<b>【第3セグメント】</b> 機械装置 エンジニアリング	<div style="border: 1px solid black; background-color: #ffffcc; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>【計画】売上高：1,550百万円，営業利益：40百万円</b> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エンジニアリング事業においては、昨年末からの設備投資計画の延期・見直しの影響により、上期は赤字の見通し。下期以降は食品・環境関連設備分野に注力し黒字化を目指す。</li> <li>・ パイプ圧延機・造管機は海外プロジェクトを抱える顧客への提案営業により物件の取込みに努める。</li> </ul>

# ステンレス市況推移

(円/kg)

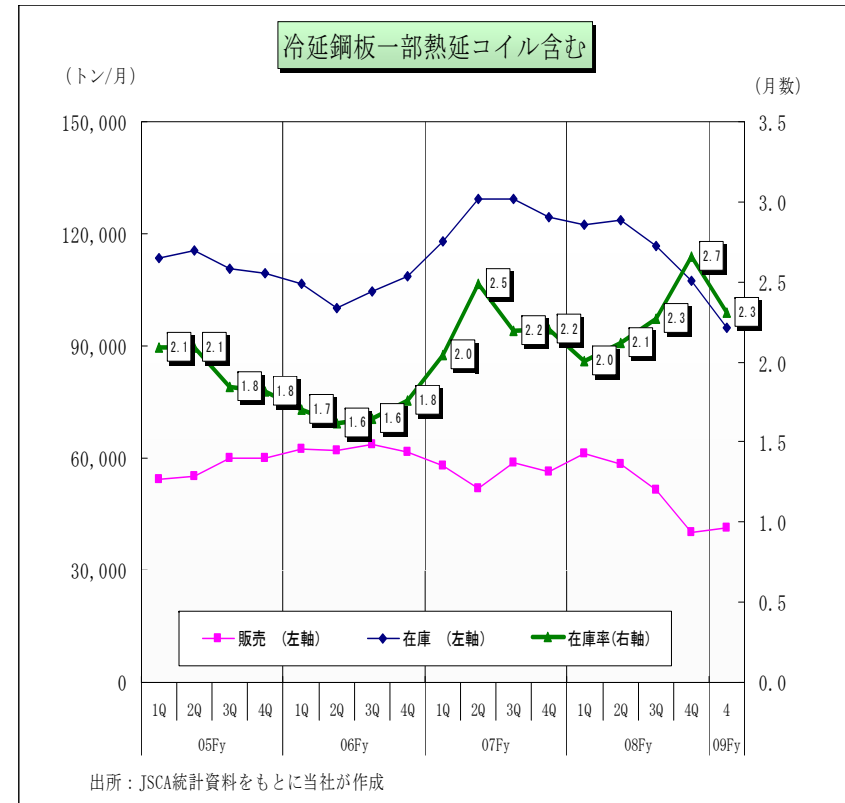
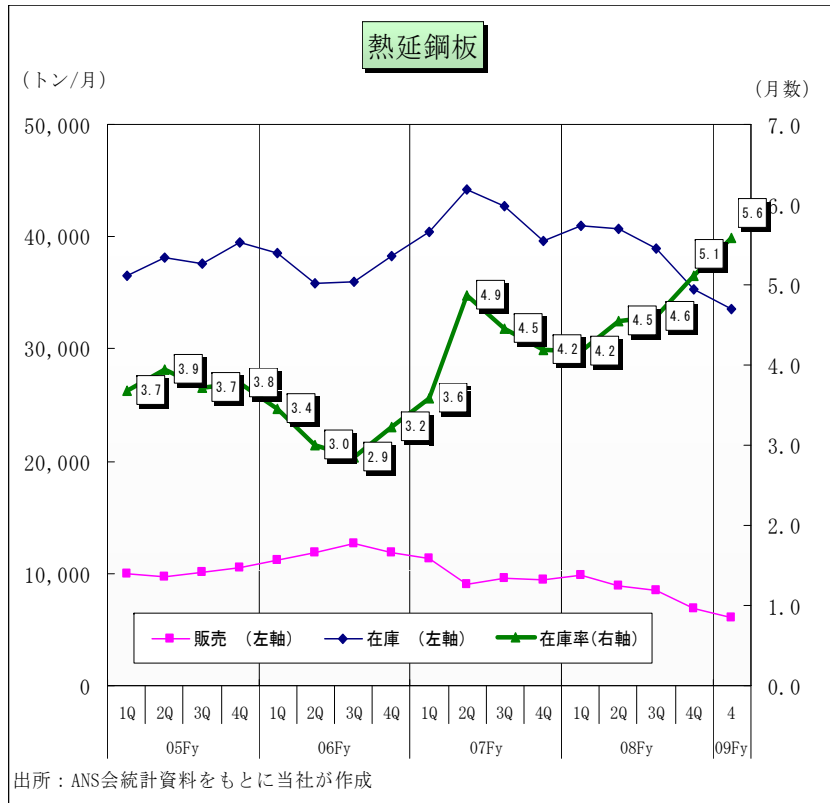


# ステンレス価格とニッケルLME価格の推移



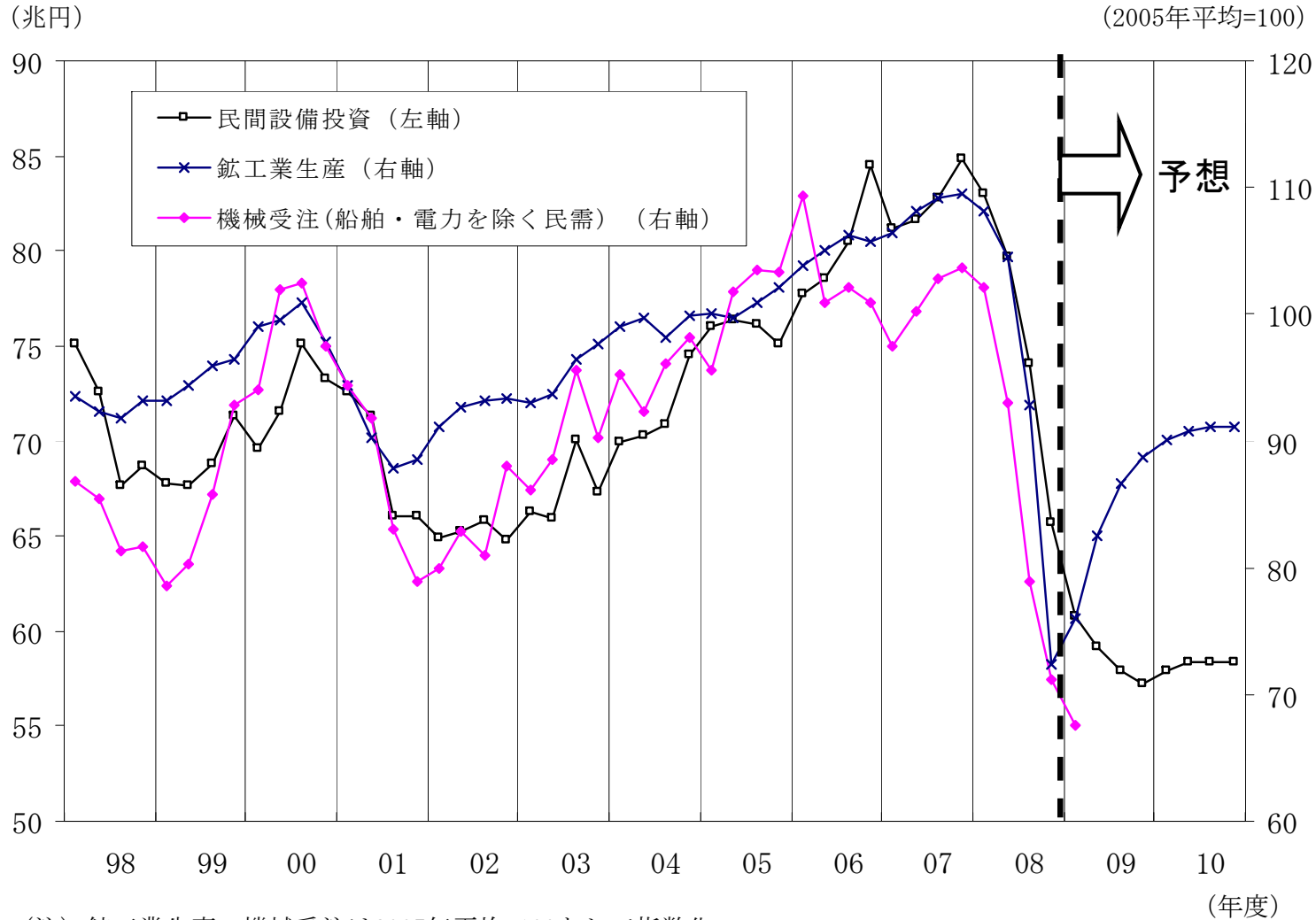
出所：U E X調べ（薄板市況）

# ステンレス鋼板市中在庫状況



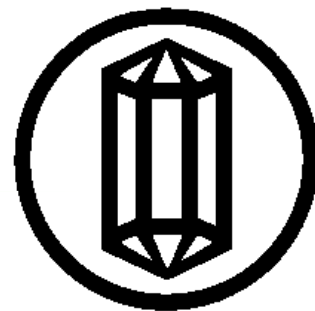
■ 冷延の在庫率は0.8. 4Qをピークに好転。熱延は依然悪化傾向止まらず。

# 民間設備投資・鉱工業生産・機械受注推移



(注): 鉱工業生産・機械受注は2005年平均=100として指数化  
 機械受注の09.1Qは内閣府見通し、民間設備投資・鉱工業生産の09.1Q-10.4Qは新光総合研究所予想  
 出所;内閣府、経済産業省資料を基に新光総合研究所が作成

# 補足資料



株式会社 **UEX**



## 会社概要 (2009年3月31日現在)

商号	株式会社U E X
設立	1955年1月14日
資本金	15億1,215万円
発行株式総数	12,000,000株
株主数	3,201名
従業員数	324名

# 当社の取引概要

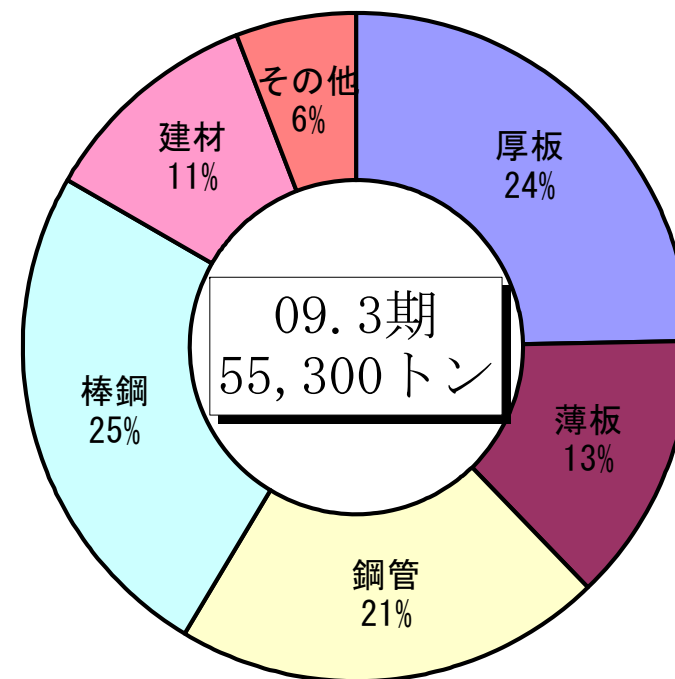
## 販売先

IHI、岩井機械、荏原製作所、CB&I、日本ドレッサ  
 日本フイツヤ、月島機械、東芝、森松工業（50音順）  
 09.3期取引先総数 2,297社

## 仕入先

品種	主な仕入先
ステンレス鋼板	新日鐵住金ステンレス(株)
ステンレス鋼管	住友金属工業(株)
ステンレス棒鋼・建材	大同特殊鋼(株)
チタン	新日本製鐵(株) 大同特殊鋼(株)

ステンレス販売における品種構成



- 当社売上高の80%以上がステンレスの販売に拠ります。当社が販売するステンレスは厚板・棒鋼・鋼管を中心として主に工場生産設備などの資本財として使用されております。

# ステンレス・チタンの商流における当社の機能

ステンレス・チタンの商流における当社機能は、大きく二つに分けられます。一つは商社機能、もう一つは問屋機能です。問屋の代表的な機能は以下のとおりです。また、当社の場合、商社機能（ひも付き）と問屋機能（店売り）の取扱は概ね半々です。

1. 在庫機能
  - ・必要な量を提供する小ロット対応
  - ・需給の時間差を調整する機能（短納期対応）
2. 物流・切断加工機能
  - ・ユーザーのニーズにお応えする切断加工
  - ・速やかできめ細かいデリバリー
3. 支払い条件の差を埋める金融・与信機能

商社機能（ひも付き）と問屋機能（店売り）における商流は下図のとおりです。

